産地連携フォーラムとは

無料会員登録はコチラ

食品事業者や生産者等から構成する「産地連携フォーラム」は、「産地連携」に係る優良情報をお届けします

現状の課題





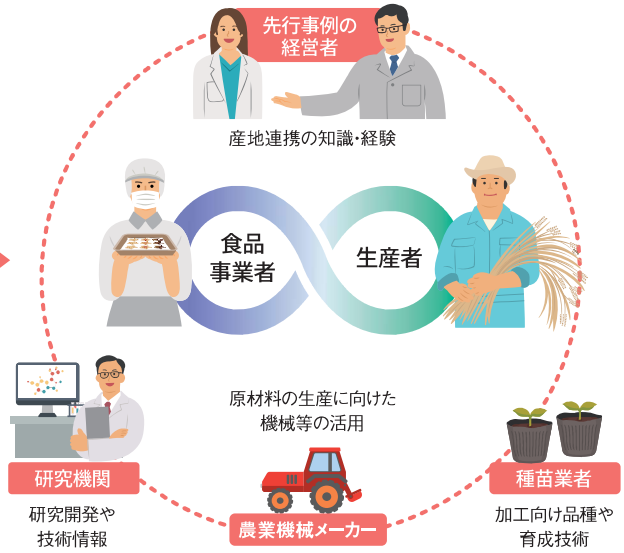
食品事業者

- 気象問題等による取引価格や調達量の変動
- 輸入価格の変動
- 農業生産の技術的知識への不安
- 産地との交渉に自信がない
- フィールドパーソンの不在

生産者

- 加工用農産物への知識や不安
- 人手不足
- 設備整備が困難
- 契約栽培の買取価格や数量など条件面が不安
- 収穫量の安定と産地内の体制づくりが困難　など

産地連携フォーラムの形成で解決！



ウェブサイト

モデル事例のご紹介

順次、追加情報をメルマガでお届け!

様々な地域、作物で取組まれた「産地連携」の具体的な事例をご紹介します。
新品種への取組みや加工用原材料の活用、閑散期を活用した研究機関と共同の営農指導等、産地連携のきっかけを見つけましょう。

オンラインセミナー

会員限定オンラインセミナー開催

7月より全6回のオンラインセミナーを実施しています。「産地連携」について事業者・生産者・研究機関等、それぞれのメリットをお届けします。

テーマ

- 生産現場における連携前後の変化
- 商習慣の違い
- 食品製造事業者を取り巻く環境変化
- 長期的な産地連携　等

農林水産省の政策　食料システム法

食料安全保障確保のため「食料システム法」が制定されました。この制度では、国産原材料の活用等に取組む食品事業者を支援し、食品産業の持続的な発展を推進します。



ポイント

計画認定制度

各種支援・特例措置

食品産業の事業者が、生産者との安定的な取引関係の確立などの取組みを行う計画を作成し、農林水産大臣の認定を受けた場合、各種支援・特例措置を受けることが可能です。

認定の取得

4つの事業活動において認定を受けることができます。その1つである「安定取引関係確立事業活動」では、農林漁業者との安定的な取引関係の確立を図る事業活動を推進します。

MARRIAGE Make Agriculture Resilient and Revitalize Initiatives and Actions of Grocery Enterprise

産地連携フォーラム

MAFF 農林水産省

「産地連携フォーラム」
～安定した国産原材料取引に向けて～

生産者のお困りごと



食品製造業のお困りごと

✓ 加工用農産物への
知識や経験の不足
✓ 加工用の取引に向けた
条件面が不安
✓ 安定供給のための
産地の体制づくりが困難

✓ 国産原材料の
安定調達が難しい
✓ 農業生産における
技術的知識の不足
✓ フィールドパーソンの不在
産地との交渉に自信がない

産地連携に向けた
会員限定オンラインセミナーを開催

	開催時期	主なテーマ（※）	セミナー内容（※）
1回目	7/29	食品事業者との連携で 生産者はどう変わる？	産地連携がもたらす 生産現場（収益性・手間・販路等）の変化
2回目	8/20	商習慣の違いを知ることから 始まる産地連携	互いの商習慣と譲れないポイントを認識したうえで 始める円滑な連携
3回目	11月上旬	生産者と食品事業者の契約における成功・失敗の要因	産地連携における成功と失敗を分ける要因と 課題への向き合い方
4回目	11月下旬	「一人では難しくても、つながればできる」 生産規模に関わらずできる産地連携	食料システムの関係者が一体となって進める 産地連携の取組事例紹介
5回目	12月上旬	食品事業者を取り巻く環境変化と 新たな連携の可能性	食品事業者による原材料調達の変化と新たな連携のかたち
6回目	１月中旬	「続く連携」に共通する成長と課題	長期的かつ安定的な産地連携を実現すると見えてくる 産地連携のメリットと課題

※調整中のため、
変更の可能性があります

MARRIAGE
Make Agriculture Resilient and Revitalize Initiatives and Actions of Grocery Enterprise

MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省

26.09.16時点

繋がる力で食品業界は変わる

FATAP

食品企業生産性向上フォーラム

Forum to achieve through new technologies such as automation and DX towards increased productivity in the food industry

会員募集のお知らせ

食品企業生産性向上フォーラム「FATAP」は、食品関連企業が抱える課題を“共に解決する”ための交流・学びの場を提供しています。本フォーラムに会員登録いただくことで、人材育成講習会の受講や交流会（セミナー）への参加、ニーズに合わせた最新情報の取得が可能となります。ぜひフォーラムを活用して生産性向上にお役立てください。

食品企業が抱える課題…

●人材育成 ●環境改善 ●自動化・DX化 など

サポートします！

生産技術人材*の育成講習会

※食品工場において、省力化技術等の導入適否を主体的に判断できる人材



オンラインで全国から受講可能！

過去の講習会の資料アーカイブも提供しています

交流会（セミナー）で業界の連携を促進



現場で活かせるヒントと気づきが得られる!

食品企業と機械メーカー等がつながるきっかけの場を設けます

関係省庁からの最新情報をお届け



法律や補助金税制優遇制度など

貴社に合った支援制度や活用事例をお知らせします

簡単・無料の会員登録はこちら▶

事業の規模を問わず、どなたでもご登録いただけます。
食品業界の皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

食品企業生産性向上フォーラム

https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/soumu/seisansei_forum.html

農林水産省

農林水産省

食品企業生産性向上フォーラム
Forum to achieve through new technologies such as automation and DX towards increased productivity in the food industry

参加費無料｜オンライン

下期　全4回

食品工場の省力化

農林水産省　生産技術人材育成講習会

学びを自社の現場へ

食品工場の持続的な省力化に向けて
自社に適した手段を選び、実行し、成果につなげる4つのステップ

「自社の現場では、何から手をつければよいか」

これまでの講習会でお届けした基礎を土台に、下期はこの問いにご自身で答えを出せるようになることを目標に据えます。現場の課題から手段を選び、計画に落とし、進めるかを見極め、定着させる。実際の検討の順序に沿って、全4回で構成します。

① **構想**
何を選ぶか

② **具体化**
何を整理するか

③ **判断**
どう見極めるか

④ **定着と継続**
どう使い続けるか

全4回の連続講座です。通してのご受講をおすすめしますが、各回のみのご参加も可能です。
上期を受講されていない方もご参加いただけます。

受講無料

下期第1回　｜　**構想**

10.15（木）
13:00〜14:30

この回のお申込み

下期第2回　｜　**具体化**

10.28（水）
13:00〜14:30

下期第3回・下期第4回は2026年11月以降の開催予定です。

開催形式　オンライン（ウェビナー形式）　**対象者**　食品企業生産性向上フォーラム会員　**参加費**　無料

こんな方におすすめ　食品製造業の生産技術・製造・保全のご担当者、工場長、改善推進のご担当者に向けた内容です。

- 現場の人手が足りず、ロボット等の自動機の導入を検討している
- 自動化を検討しているが、何をどこまで自社で決めればよいか分からない
- 業務改善に、優先順位をつけて取り組めるようになりたい
- 投資の稟議に向けて、効果や費用の説明をどう組み立てるか悩んでいる
- 過去に導入した設備が使われておらず、次の投資に踏み切れない

全4回の詳しい内容、対象者・受講のご案内は裏面をご覧ください。

主催：農林水産省（食品企業生産性向上フォーラム）　事務局：株式会社NTTデータ経営研究所　food_seisansei@nttdata-strategy.com

農林水産省

食品企業生産性向上フォーラム
Forum to achieve through new technologies such as automation and DX towards increased productivity in the food industry

生産技術人材育成講習会
下期　全4回

学びを自社の現場へ

食品工場の省力化 ― 自社に適した手段を選び、実行し、成果につなげる4つのステップ

食品工場の省力化は、設備を選ぶ前に決めておくことがあります。
どの困りごとを解くのか、どの手段が自社の条件に合うのか、どこまで確かめてから投資に踏み込むのか。

上期の積み上げと、下期の発展

上期（全4回）で実施したこと

IE（インダストリアル・エンジニアリング）による現場改善の着眼点、標準化によるリソース創出、データの見える化による現状把握、安全とコミュニケーションを土台とした組織づくり。
食品工場の省力化を考えるうえでの基礎を、体系的にお届けしました。

上期の実績



延べ申込者数
1,231人

※満足度は「非常に満足」「満足」の回答割合です。

下期（全4回）で実施すること

上期の発展形として、学んだ考え方を自社の現場に当てはめる段階を扱います。現場の課題から手段を選び、実行できる計画に落とし、進めるかを見極め、定着させて成果を続ける。構想から継続までの判断の順序を、全4回に分けて扱います。

下期は上期の受講を前提としていません。必要となる前提は各回で解説しますので、はじめての方もご参加いただけます。

下期 全4回のプログラム

下期第1回 ｜ 構想 **2026年10月15日（木）** **13:00～14:30**	**現場課題から描く省力化の構想** 改善・デジタル化・設備導入を組み合わせた手段選択	**目標：**自社の課題に適した省力化手段を考える	**講師：** 一般社団法人日本食品自動化協会 白坂 紳滋 氏
下期第2回 ｜ 具体化 **2026年10月28日（水）** **13:00～14:30**	**省力化の構想を実行可能な計画へ** 現状・目標・要求条件の整理と関係者との進め方	**目標：** 改善案の実行に必要な条件と関係者を整理する	**講師：** 一般社団法人日本食品自動化協会 白坂 紳滋 氏
下期第3回 ｜ 判断 **開催日は追って** **お知らせします**	**試行とデータで見極める** **省力化の実行判断** 効果・費用・運用条件を踏まえた比較と意思決定	**目標：**小さく試し、実行可否を判断する	**講師：** ケーアイアップ株式会社 井上 恵一 氏
下期第4回 ｜ 定着と継続 **開催日は追って** **お知らせします**	**省力化の効果を現場に** **定着させ、成果を続ける** 立上げと運用設計から効果測定・継続改善まで	**目標：** 現場で使える状態にし、効果を確認して次の改善へつなげる	**講師：** ケーアイアップ株式会社 井上 恵一 氏

食品企業生産性向上フォーラムとは？

食品企業生産性向上フォーラム
繋がる力で
食品業界は変わる
Forum to achieve through new technologies such as automation and DX towards increased productivity in the food industry



- **繋ぐ**　事務局が相談窓口となり、専門家と連携して課題解決を支援します
- **育てる**　現場で役立つ講習会を通じて、技術と人材の育成を支援します
- **届ける**　補助金や制度情報を整理し、すぐに使える形で現場へ届けます

農林水産省は、食品製造業の生産性向上を目指し「食品企業生産性向上フォーラム」を創設しました。食品産業に係る国の施策情報などの情報を食品企業や機械メーカーの皆様にご提供いたします。フォーラムでは、食品製造業の自動化設備／施設の導入、機械化、DX、食品製造現場における生産技術人材育成の支援します。どなたでも無料でご参加可能ですので、ぜひフォーラムを活用して生産性向上にお役立てください。

本講習会は食品企業生産性向上フォーラム会員を対象としています。会員未登録の方は、まずフォーラムへのご登録をお願いします。
フォーラムの詳細・ご登録はこちら　**https://www.maff.go.jp/j/shokusan/sanki/soumu/seisansei_forum.html**

主催：農林水産省（食品企業生産性向上フォーラム）　　事務局：株式会社NTTデータ経営研究所　food_seisansei@nttdata-strategy.com

食品産業の発展に向けた計画認定制度
（食料システム法計画認定制度）

MAFF
Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries
農林水産省

2026年10月
新事業・食品産業部

認定対象となる事業活動

- 食品等事業者（**食品製造業者、食品卸売業者、食品小売業者、外食業者等**）は、食品等の持続的な供給に資する以下のいずれかの取組について、**農林水産大臣の認定及び金融・税制等上の総合的な支援・特例措置**を受けることが可能

農林漁業者との安定的な取引関係の確立を図る事業活動（農林漁業者との連携強化）
- 新たな産地との契約や原材料の国産切替に向けた設備の導入
- 契約先農家からの調達量拡大に向けた設備の導入　など



食品等の流通の合理化による措置により、食品等の流通の経費の削減、価値の向上又は新たな需要の開拓を図る事業活動
- 品質管理を高度化（低温管理等）する設備の導入
- 流通効率のため物流拠点を整備　など

環境への負荷の低減又は資源の有効利用を図る事業活動
- 食品製造過程での温室効果ガスや食品ロス削減に向けた設備の導入
- 脱プラスチックを図るための設備の導入　など

食品等の持続的な供給の実現に配慮した食品等の一般消費者による選択に資する情報の伝達を図る事業活動
- サステナビリティ情報を消費者に発信するためのディスプレイや電子ポップの整備
- カーボンフットプリントの算定に係るシステム整備　など

01~04に関連する技術の研究開発や事業再編（株式取得等）についても、認定を受けることが可能
（研究開発を行う場合、食品等事業者以外との連携可）
- 環境負荷低減事業活動に関連して行う、環境負荷の低い代替タンパク食品の開発（研究開発）
- 安定取引関係事業活動に関連して行う、地元農家と連携する豆腐製造業者の株式取得（事業再編）　など

認定を受けた場合の支援・特例措置（概要）

- 農林水産大臣の計画認定を受けた場合、**金融・税制を含む以下の幅広い支援・特例措置**を受けることが可能

	項目	主な内容	備考
金融支援	日本政策金融公庫による長期低利融資（**食品等持続的供給促進資金**）	• 設備投資や事業再編を行う際、運転資金も含めて長期（10年超25年以内）かつ低利の融資を受けることが可能	• 中小企業者のみ対象
	日本政策金融公庫による海外展開支援	• 海外にある子会社が現地金融機関から融資を受ける際の債務の保証を受けることが可能	• 流通合理化事業活動のみ対象
	食品等持続的供給推進機構による債務保証	• 民間金融機関から資金調達する際の債務の保証を受けることが可能	• 連携して計画を申請する農林漁業者や研究開発事業者も含めて対象
	指定金融機関による長期・低利の大規模融資	• 指定金融機関（日本政策投資銀行等）による、長期（５年以上）・低利の大規模（50億円以上等）融資を受けることが可能	• 大企業も対象 • 産業競争力強化法の事業適応計画又は事業再編計画の認定要件を満たす必要有
	中小企業投資育成株式会社による出資	• 資本金が３億円を超える場合でも中小企業投資育成株式会社からの投資を受けることが可能	• 中小企業等経営強化法の経営力向上計画の要件を満たす必要有
税制特例	中小企業経営強化税制	• 設備投資を行う際、即時償却又は取得価額の最大10%の税額控除等を受けることが可能	• 中小企業等経営強化法の経営力向上計画の要件を満たす必要有
	カーボンニュートラル投資促進税制	• 脱炭素化と付加価値向上を両立する設備投資を行う際、3～10%の税額控除又は30%の特別償却を受けることが可能	• 産業競争力強化法の事業適応計画の認定要件を満たす必要有 • 環境負荷低減事業活動のみ対象
	事業再編時の登録免許税軽減措置	• 合併や会社分割、出資の受入れ等を行う際の登録免許税を軽減することが可能	• 産業競争力強化法の事業再編計画の認定要件を満たす必要有
その他	農研機構による設備等の供用等	• 技術の研究開発を行う際に、農研機構の保有する研究開発設備等（食品加工設備等）を利用することが可能	• 連携して計画を申請する研究開発事業者も含めて対象
	事業再編時の会社法等の手続き緩和特例	• 事業再編を行う場合の、現物出資等の円滑化等の会社法上の手続き緩和特例を受けることが可能	• 産業競争力強化法上の事業再編計画の認定要件を満たす必要有
	計画認定マーク	• 認定された事業活動計画の広報活動や認定計画に基づく商品等の販売活動のPRに活用可能	• 利用規約に従って活用する必要

認定を受けた場合の支援・特例措置（食料システム法認定マーク）

- 食品等事業者が認定された事業活動計画の広報活動や認定計画に基づく商品等の販売活動のPRに活用できる認定マークを作成
- 認定マークは計画認定制度に基づく事業活動計画ごとに４種類
- 計画認定制度の認定を受けた食品等事業者で、認定マークの使用を希望する場合は、食料システム法計画認定マーク使用規約及びマニュアルに従い、認定マークを利用することが可能。

食料システム法計画認定マーク



食料システム法
2026計画認定



食料システム法
2026計画認定



食料システム法
2026計画認定



食料システム法
2026計画認定

計画認定マーク使用規約・マニュアル：https://www.maff.go.jp/j/shokusan/keikaku/gaiyou.html

輸出拡大への挑戦を応援します！

■参加無料
■食品製造事業者向け

GFP加工食品部会のご案内

GFP加工食品部会に参加すると…

- ✅ 輸出規制・市場情報が得られる
- ✅ 商社・バイヤーとつながれる
- ✅ 専門家に相談できる

GFP 農林水産物・食品輸出プロジェクト ※

※GFP：Global Farmers / Fishermen / Foresters / Food Manufacturers Project の略称で、輸出意欲のある産地・事業者のコミュニティ形成等をオールジャパンで支援するプロジェクト（※加工食品部会は、食品製造事業者の輸出拡大に特化した取組）

＼＼ こんなお悩みはありませんか？ ／／



現地系販路を開拓したいが、どの輸入商社がいいのか分からない…



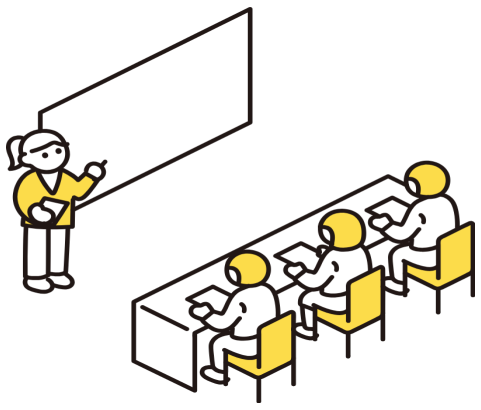
各国の輸出規制が分からない…

輸出先国を多角化したいが、商流構築のやり方に不安がある…



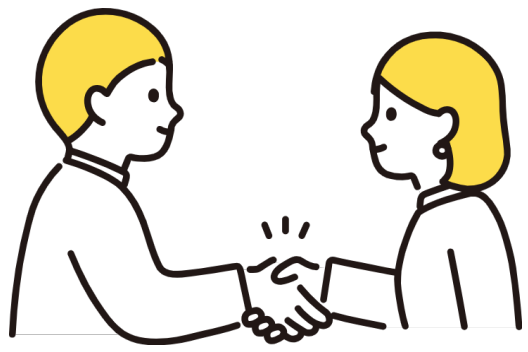
GFP加工食品部会では以下の取組を実施しています！

各種セミナー



事業者様へのアンケートを実施し、課題解決に向けた品目別/テーマ別のセミナーを開催しています。

合同相談会・マッチング



ターゲット国や輸出課題に応じた商社やディストリビューター、専門家との相談会・マッチングを実施しています。

伴走支援



テーマごとにチームを編成し、メンター（商社・インポーター等）を配置の上、伴走支援を実施しています。

参加した事業者様の声

菓子メーカー

具体的に海外でのブランドを構築する際のポイントについて、ご指導くださり大変参考になりました。

麺メーカー

合同相談会をきっかけに商談の機会をつくることができたため満足。

水産加工品メーカー

新たな販路開拓の方法を教えていただき、非常に参考になりました。

漬物メーカー

包材の規制に対応するためにどのようにしていくべきかが明確になりました。

今年度の実施予定イベント

開催時期	イベント名	概要
8月28日（金）開催済	加工食品現地系販路開拓セミナー	配信アーカイブ公開中▼ https://www.youtube.com/live/cv5JhhsLe3w
11月16日（月）	輸出体制構築セミナー	社内体制の在り方、人材の確保・育成、外部リソースの活用、貿易実務への対応等について発信予定
12月想定	輸出規制対策セミナー	詳細未定

※記載しているイベントはあくまで予定であるため、今後変更の可能性がございます。
※開催予定のイベントの一部を記載しています。

まずはGFPメンバー登録をお願いします！

GFPコミュニティサイトに登録することで、
様々なサービスを利用することができます。

登録無料

- ✓ 輸出診断
- ✓ 会員向けコンテンツ
- ✓ 交流会・セミナーの開催
- ✓ 情報発信





各種SNSを通じた情報発信も行っているので、ご登録お願いします！

お問い合わせ

GFP加工食品部会事務局
営業時間：平日10：00～18：00
電話：070-2481-7436
メール： Agri_Exportation_JP@accenture.com

過去に実施したセミナー資料、動画アーカイブを掲載しています！

GFP加工食品部会HP



GREEN×EXPO 2027 入場チケット　好評発売中

2027年3月19日から開催されるGREEN×EXPO 2027の入場チケットを発売中です。
従業員の皆様の福利厚生や取引先との関係強化、景品※等にご活用いただけます。

※チケットを景品としてご利用いただく場合には基準があります。ご希望の場合は事前に協会までお問合せください。

チケットの券種・価格・発売期間

項目	券種	概要	料金区分			販売期間	
			大人（満18 歳以上）	中人（満12～17 歳）	小人（満4～11 歳）	販売開始～3/18	会期中
前売チケット	1日券(早割価格)	会期中いつでも1回入場可	4,900円	3,000円	1,400円	○	
会期中販売チケット	1日券(通常価格)	会期中いつでも1回入場可	5,500円	3,300円	1,500円		○
	夜間券	会期中いつでも17時以降1回入場可	3,500円	1,900円	900円		○
前売・会期中販売チケット	特別割引券	障がい者手帳をお持ちの方および同伴者1名が購入可能で、会期中いつでも1人1回入場可	2,800円	1,700円	800円	○	○
	通期パス	会期中いつでも何度も入場可	28,000円	16,000円	6,500円	○	○
	夏パス	夏の決まった期間（7/1～8/31）に何度も入場可	12,000円	7,000円	3,000円	○	○
	一般団体割引券	15名以上の一般団体が会期中いつでも1回同時入場可	5,200円	3,100円	1,400円	○	○
				高校生	中学生･小学生･園児		
	学校団体割引券	学校団体が会期中いつでも1回同時入場可		1,700円	900円	○	○

※小学校卒業前の12歳の小学生は小人、高校卒業前の18歳の高校生は中人料金を適用。

チケット購入の大口割引

○ご購入は、1券種･1種別100枚以上100枚単位でお願いいたします。
○1回のご購入100枚から、チケット代金に対し下記割引が適用されます。
※お申込み時期により割引率が異なりますのでご注意ください。紙チケット印刷代･発送料は割引の対象外。

早期購入のメリット

✓ 早割価格(5,500円→4,900円)に加え、**購入枚数に応じて割引(3～6%)**

購入枚数(枚) ※1回の購入につき	割引率(%)	
	～2026.9.30申込迄 購入キャンペーン	10.1～
100～10,000	3.0	2.0
10,100～20,000	3.5	2.5
20,100～40,000	4.0	3.0
40,100～60,000	5.0	4.0
60,100～	6.0	5.0

ご関心をお持ちいただけましたら、下記までご連絡くださいますようお願いいたします。

お問合せ先
近畿農政局
担当者：生産部園芸特産課　新地
連絡先：075-414-9023（直通）



EXPO 2027 YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会

開催期間：2027年3月19日(金) ― 9月26日(日)

開催地：神奈川県横浜市

主　催：GREEN×EXPO協会
（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会）

A1クラスの国際園芸博覧会
37年ぶりの日本開催

「GREEN×EXPO 2027」とは

2027年に神奈川県横浜市（旧上瀬谷通信施設）で開催される国際園芸博覧会の略称です。「植物」、「花」、「緑」を総称し、「自然」、「環境にやさしい」という「GREEN」、国際的に共通する課題の解決に寄与する国際博覧会「EXPO」という語を掛け合わせ、これからの自然と人、社会の持続可能性を追求し、世界と共有する場であることを表現しました。日本では1990年の大阪花の万博以来37年ぶりとなる最上位（A1クラス）での開催で、BIE（博覧会国際事務局）認定の万博でもあります。



公式マスコットキャラクター
トゥンクトゥンク

｜テーマ｜
「幸せを創る明日の風景」
Scenery of the Future for Happiness

横浜スタジアム約28個分、約100ヘクタールの広大なエリア

1000万株の花と緑が集結

四季折々の花と緑が集い、豊かな自然や生物多様性を体感できる空間が広がります。
会期初めには、約40種600本の桜が咲き誇ります。




グリーン社会を実現する
最新のテクノロジーと出会える場
Urban GX Village


自然と共に育まれた日本の伝統的な
ものづくりが一堂に集まる場
Craft Village

「農」と「食」を通じて
ウェルビーイングを追求できる場
Farm & Food Village


これからの地球を生きる子どもたちが
楽しく自然と世界を学べる場
Kids Village


自然と人の共存する暮らしの
心地よさを再発見できる場
SATOYAMA Village





“命の根源”である植物。その真の姿に迫るテーマ館では、
“地球環境の一部としていかに生きていくか”をリアルとデジタルで体験できる。



政府出展では、最高水準の日本庭園やいけばな、盆栽と共に、地球環境の課題解決に向けた新技術に触れられる。

開催場所 神奈川県横浜市 旧上瀬谷通信施設

開催期間 2027年3月19日（金）～9月26日（日）

公式SNS　公式ウェブサイト

X　Instagram　Facebook　YouTube　LinkedIn

お問い合わせ

GREEN×EXPO協会（公益社団法人2027年国際園芸博覧会協会）
045-307-2027　info@expo2027yokohama.or.jp



2025年8月版

©Expo 2027

まだ知らない！

関西の食品企業の魅力を発信！

食品企業の取組や見学施設等を募集し、
近畿農政局ホームページで紹介します

募集対象

- 近畿管内に所在する食品企業等

（食品製造業、食品流通業、外食産業等）

近畿管内
・滋賀県　・兵庫県
・京都府　・奈良県
・大阪府　・和歌山県

募集内容



この他にも物流の効率化、女性活躍、食品安全等の様々な先進的な取組を募集いたします

申請方法

- ホームページに掲載されております「登録申請書」に取組の詳細を記入の上、

kansai-factorybank★maff.go.jp へ送付（メール送信の際は★を@に変換して送信してください）

←ホームページの
サイトはこちらから

企業PRにも！

https://www.maff.go.jp/kinki/seisan/syokuhin/syokuhin_sangyou/attach/k250419.html

【お問合せ先】
近畿農政局経営・事業支援部食品企業課
代表　：075－451－9161
直通　：075－414－9024

農林水産省
近畿農政局

●「登録申請書」の内容

1. 申請者概要

フリガナ		
貴社名		
貴社のホームページURL		
貴社を代表する写真 （代表商品や工場、 イメージキャラクターの外観等）	画像ファイルの添付	
担当者情報	部署名	
	フリガナ	
	氏名	
	TEL	
	e-mail	
本社の住所	〒	

2. 企業の取組に関して

取組内容の内、特にアピールしたいこと（一言で）	
取組の詳しい内容 例　・地産地消 ・食文化の発信 ・環境負荷削減 ・他の工場には無い魅力 等 ※適宜欄を追加して下さい	1、「　　」
	参考画像のファイル
	2、「　　」
	参考画像のファイル
	3、「　　」
	参考画像のファイル
	4、「　　」
	参考画像のファイル

※見学・体験を実施していない場合は、以下の項目は記入不要です。

3. 見学・体験の施設概要

施設名	
所在地	〒
施設の概要	
見学・体験の 予約サイトURL	

4. 見学・体験の内容詳細

対象年齢	
費用	
定員	
日時（所要時間）	
対応言語	
交通アクセス	
団体予約の可否	
駐車場の有無	
施設内撮影の可否	
バリアフリーの有無	
マスク着用の有無	
持ち物	
その他注意事項	

※ ご提出いただいた情報は、本プロジェクトの運営及び掲載内容の作成にのみ使用し、適切に管理いたします。なお、掲載内容については、事前にご確認いただいた上で公開いたします。